

## 《 諫 干 だ よ り 》

◆◆◆2007/7/2◆◆◆

### ◆◆◆目 次

- ◆諫早湾干拓事業にかかる最近の動き
- ◆重要なお知らせ[諫早湾干拓地の農業者募集について]
- ◆トピックス
  - ◇諫早湾干拓調整池水辺環境の保全・創造推進会議の開催について
  - ◇シンポジウム 地球を救う「有機農業」の開催について
  - ◇県の農林水産省への政府施策要望について
  - ◇6月定例県議会の開会について
- ◆総合農試干拓科だより(干拓地で栽培した春作バレイショの内容成分)
- ◆九州農政局通信(強い農業づくり交付金の概要)
- ◆その他(意見、提案の募集)
- 編集後記

#### ◆◆◆諫早湾干拓事業にかかる最近の動き

■平成19年5月31日(木)

□諫早湾干拓調整池水辺環境の保全・創造推進会議が開催された。

■平成19年6月8日(金)

□シンポジウム 地球を救う「有機農業」が開催された。

■平成19年6月12日(火)

□県は来年度の政府施策について要望をした。

■平成19年6月13日(水)

□6月定例県議会が開会された。

#### ◆◆◆重要なお知らせ

#### ◆◆◆諫早湾干拓地の農業者募集について

##### 1. 募集期間

平成19年8月1日～8月31日

##### 2. 農業者等説明会

平成19年7月25日～27日の3日間において、現地視察及び募集に関する説明会を開催します。

- 1) 現地視察 …… 中央干拓地及び小江干拓地(10:00~12:15)  
2) 説明会 …… 高来西ゆめ会館(諫早市高来町峰19-1:13:30~16:00)  
※説明会の詳細及び出欠の確認等につきましては、後日郵送にて通知します。

また、募集要領につきましては、7月中旬に長崎県のホームページに掲載することとしております。(説明会当日にも配布)

◆◆◆トピックス

◆◆◆諫早湾干拓調整池水辺環境の保全・創造推進会議の開催について

事務局より行動計画の実施事業計画について説明のあと、九州農政局より干拓地の現状、調整池の水質について報告がありました。

この中で、水質汚濁の指標となるCOD(化学的酸素要求量)が目標値(5mm/l以下)に対し平成18年度が7.9mm/l(75%値)と上回っていることなどの説明があり、これを受け、平成16年度に策定した「諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」(平成16年度~平成19年度)を、行動計画で推進してきた各種施策の進捗や新たな状況の変化を踏まえ、本年度内に幹事会やワーキンググループで検証し、来年3月までに次期行動計画(平成20年度~平成24年度)を策定することを会議で了承されました。

◆◆◆シンポジウム 地球を救う「有機農業」の開催について

諫早市連合婦人会の主催による「有機農業」推進のシンポジウムが、6月8日諫早市文化会館大ホールで開催されました。本シンポジウムは昨年12月、有機農業推進法が国会で可決されたことをうけ、当地域での有機農業をどのように推進していくかをテーマとして、先進的な取り組み事例の報告や意見交換が行われました。

その中で、諫早湾干拓地はこれまで耕作履歴の全くない農地であり、有機農業の実践にふさわしい場所であり、今後の活用法に期待したい、等の意見が出されました。



◆◆◆県の農林水産省への政府施策要望について

長崎県は、6月12日(火)に中央省庁において「平成20年度政府施策に関する提案・要望活動」を実施し、農林水産省に対しては、金子知事が「早期営農確立のための各種支援制度の拡充・創設」等を要請しました。

なお、要望書の内容は以下のとおりです。

国営諫早湾干拓事業の早期営農確立支援並びに調整池水辺環境の保全と創造支援等について

国営諫早湾干拓事業は、地域住民の安全な暮らしを確保するとともに、21世紀にお

ける本県農業の振興を図るうえで極めて重要な事業であります。本県としては、平成19年度事業完成に向け、干拓地について環境保全型農業の積極的な推進や農地リース方式の導入等による新しい営農展開を目指しており、その実現のため各種支援対策が不可欠です。加えて調整池の水辺環境の保全と創造が必要となっております。

国営諫早湾干拓事業の早期営農確立支援並びに調整池水辺環境の保全と創造支援等について、次のとおり要望します。

- 1 早期営農確立のための各種支援制度の拡充・創設
- 2 環境保全型農業や農地リース事業の展開等に係る国、県一体となった取り組み
- 3 干拓地や土地改良施設の適切な維持管理に係る支援
- 4 潮受堤防管理に対する国の関与
- 5 「(仮称)第2期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」に基づく水質保全対策や水辺空間づくりの推進及び支援

#### ◆◇◇ 6月定例県議会の開会について

6月13日県議会が開会され、一般質問において「国営諫早湾干拓事業における営農方針」について質疑がありましたので、その概要をお知らせします。

○諫早湾干拓の営農方針に県議会からの提言がどのように反映されているのか。

→ 平成16年に県議会からいただいた「産業振興にかかる政策提言」の中では本干拓地について、県農業の牽引的な役割を果たし、ひいては、日本の21世紀型のモデルとするため、環境保全型農業の展開、農地リース方式や土地償還金軽減対策を検討する必要性など貴重な意見が示されている。県ではこの提言を重く受け止め、本年3月に策定した公募基準の根幹として環境保全型農業の推進やリース方式の導入を位置づけている。また、土地償還金軽減対策も国へ強く要望を重ね、低利融資制度の活用が可能となったが、さらなる軽減策を要望しているところであり、引き続き本提言を踏まえた諸施策を検討してまいりたい。

### 営農試験Now

一干拓地で栽培した春作バレイショの内容成分一 総合農林試験場干拓科 宮寄朋浩

試験場干拓科では平成12年度から春作バレイショの栽培試験を行っています。その結果、バレイショの収量は県内の他産地と同程度でした。しかし、諫早湾干拓は干陸して造成したことから、土壌中に豊富な塩類を含むことや保水力が高いなどの土壌特性を持っています。このような土壌条件がバレイショの品質、特に内容成分にどのような影響を与えるのか確認されていません。

平成12年度から平成17年度までの春作マルチ栽培で生産したバレイショの内容成分の分析結果を報告します。なお、本研究を進めるにあたり、総合農林試験場愛野馬鈴薯支場ならびに女子栄養大学 根岸由紀子助教授にご協力いただきました。

バレイショは県基準技術(春作マルチ栽培)に準じて栽培しました。収穫したバレイショの内容成分は以下のとおりです。得られた結果は5訂食品成分表(いも及びでん粉類/バレイショ/塊

茎、生)および愛野馬鈴薯支場で栽培したバレイシヨ(愛野産)と比較しました。

調査した品種と内容成分

調査した品種	5品種	デジマ、ニシユタカ、普賢丸、春あかり、アイユタカ
内容成分	一般成分 (7成分)	水分、たんぱく質、脂質、灰分、炭水化物、でん粉価、ビタミンC含有量
	ミネラル分 (9成分)	ナトリウム(Na)、カリウム(K)、カルシウム(Ca)、銅(Cu)、鉄(Fe)、 マグネシウム(Mg)、マンガン(Mn)、リン(P)、亜鉛(Zn)

干拓産バレイシヨは5訂食品成分表で示された数値よりも、灰分(ミネラル分)が多く含まれていました。また、愛野産と比較して、水分、たんぱく質が少なく、脂質、灰分、炭水化物が多いことや品種によって傾向が異なることなどがわかりました(表1、図1)。水田やガタ土などの保水力が高い土壌で栽培したバレイシヨは水っぽいといわれますが、今回の結果からは干拓産のバレイシヨの水分はむしろ少なめでした。

ミネラル分では、干拓産は概して含有量は高く、5訂食品成分表と比較して、ナトリウムが2.3倍、カリウムが1.9倍、カルシウムが1.8倍、銅が2.5倍、鉄が2.3倍、マグネシウムが1.2倍、リンが1.4倍、亜鉛が1.5倍の数値を示しました(表3)。また、愛野産と比較しても銅以外のミネラルが多いことから、干拓地の栽培環境、特にミネラルを豊富に含む土壌条件がバレイシヨのミネラル含有量を高めたのではないかと考えられました。

でん粉価はすべての品種で干拓産が愛野産に比べて高めであったことから、干拓地の特性(土壌や気象)がでんぷん価の上昇に影響したと考えられました。

これらの好材料、好情報をうまく流通に反映させていくことが、干拓ブランドの確立に向けて大切なことだと思います。単に含有量が高いだけでなく、食味にどう影響するか、保健機能性はどうかといった情報へつなげる必要があると思います。

反面、ビタミンCの含有量は5訂食品成分表では35mg/100gでしたが、干拓産の5品種の平均含有量は19.7mg/100gと約1/2でした。しかし、愛野産も干拓産と同程度の含有量であり、ビタミンCの含有量が少ないことが暖地産の特徴なのか、さらに検証が必要であると考えられました(図3)。

表1 一般成分の比較

		水分	タンパク質	脂質	灰分	炭水化物
干拓	平均	79.2**	1.53	0.12	1.32**	17.8**
愛野	平均	81.4	1.65	0.10	1.01	15.8
食品成分表		79.8	1.60	0.10	0.90	17.6

注) 干拓産と愛野産で有意差検定 \* : 5%レベル, \*\* : 1%レベルで有意差あり

表2 各品種の平均でん粉価

試料名	干拓産	愛野産
デジマ	11.1	8.3
ニシユタカ	11.4	9.1
春あかり	12.2	8.6
アイユタカ	10.9	8.9
普賢丸	12.1	9.9
平均	11.5	9.0

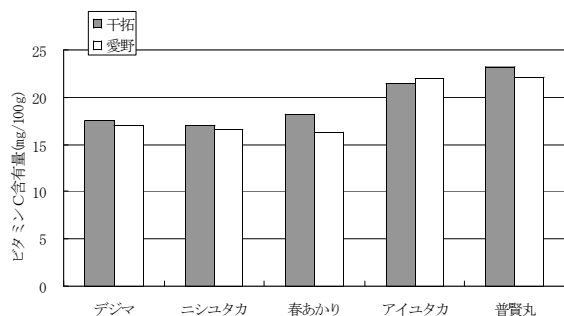


図1 ビタミンC含有量

表3 内容成分の比較

		mg / 100 g wet								
		Na	K	Ca	Cu	Fe	Mg	Mn	P	Zn
干拓産	平均	2.32**	777**	5.33**	0.25	0.95*	23.5*	0.13	56.7**	0.30
愛野産	平均	1.13	511	3.38	0.42	0.82	20.3	0.22	27.6	0.29
食品成分表		1.00	410	3.00	0.10	0.40	20.0	-	40.0	0.20

注) 干拓産と愛野産で有意差検定 \* : 5%レベル, \*\* : 1%レベルで有意差あり

## ◆◇◇九州農政局通信[強い農業づくり交付金の概要]……

今回は、強い農業づくり交付金についてご紹介いたします。

この交付金は、生産・経営から流通までの総合的な強い農業づくりを支援するため、農畜産物の高品質化・高付加価値化、低コスト化、認定農業者等担い手の育成・確保、担い手への農地利用集積の促進、食品流通の効率化・合理化等、地域における生産・経営から流通・消費までの対策を総合的に推進するものです。

### 【地域の課題解決への取組】

事業実施主体は、地域が抱える問題の明確化を図り、その課題解決のために掲げる具体的な成果目標の達成に向け、取組メニューから必要なものを選択して事業に取り組むことが可能です。また、独自の事業メニューを県が策定することも可能となっています。

### 【各対策の概要】

強い農業づくり交付金は、3つの対策からなっていますが、今回は農業者等の組織する団体が事業実施主体の対象となる2つの対策を中心に紹介します。その他の事業内容についてはHP(<http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/seisantaiaku/koufukin.html>)をご覧ください。

## I. 産地競争力の強化

産地の競争力の強化を図るため、①需要に応じた生産量の確保、②生産性の向上、③品質の向上、④農畜産業の環境保全、⑤輸入急増農産物における国産シェアの奪回を具体的な政策目標とする取組を支援します。

### ○ 取組可能なメニュー

#### 産地競争力の強化を目的とする取組

- i 産地競争力の強化に向けた総合的推進(土地利用型作物、畑作物・地域特産物、果樹、野菜、花き、鳥獣害防止、地産地消、農畜産物販路拡大、環境保全、甘味資源作物・でん粉原料用いも産地再編整備、畜産生産基盤育成強化、飼料増産、家畜改良増殖、畜産新技術、食肉等流通体制整備、耕種作物活用型飼料増産、多角的農作業コントラクター育成)
- ii 輸入急増農産物における産地構造改革の推進(輸入急増野菜並びにいぐさ、畳表)
- iii 飼料基盤活用の促進

## 整備事業

- ア 耕種作物小規模土地基盤整備
  - (ア) ほ場整備
  - (イ) 園地改良
  - (ウ) 農道整備
  - (エ) 優良品種系統等への改植・高接
  - (オ) 暗きょ施工
  - (カ) 土壌土層改良
- イ 飼料作物作付及び家畜放牧等条件整備
  - (ア) 飼料作物作付条件整備
  - (イ) 放牧利用条件整備
  - (ウ) 水田飼料作物作付条件整備
- ウ 飼料基盤条件整備
  - (ア) 草地造成改良
  - (イ) 草地整備改良
  - (ウ) 草地再生改良
  - (エ) 野草地整備改良
  - (オ) 放牧用林地整備
  - (カ) 上記と一体的に行う施設の整備
  - (キ) 土地利用円滑化



- エ 耕種作物共同利用施設整備
  - (ア) 共同育苗施設
  - (イ) 乾燥調製施設
  - (ウ) 穀類乾燥調製貯蔵施設
  - (エ) 農産物処理加工施設
  - (オ) 集出荷貯蔵施設
  - (カ) 産地管理施設
  - (キ) 用土等供給施設
  - (ク) 農作物被害防止施設
  - (ケ) 農業廃棄物処理施設
  - (コ) 生産技術高度化施設
  - (サ) 種子種苗生産関連施設
  - (シ) 有機物処理・利用施設
- オ 畜産物共同利用施設整備
  - (ア) 畜産物処理加工施設
  - (イ) 家畜市場
  - (ウ) 家畜飼養管理施設
  - (エ) 畜産新規就農者研修施設
  - (オ) 飼料作物関連施設
  - (カ) 家畜改良増殖関連施設
  - (キ) 離農跡地・後継者不在経営施設
- カ 共同利用機械整備
- キ 施設等整備附帯事業
  - ・整備事業の効果的かつ円滑な実施を図るために必要となる調整活動及び技術指導

### ○ 交付率

都道府県への交付率は定額(事業実施主体へは事業費の1/2以内等の補助率となります。)

### ○ 採択要件

取組によりそれぞれ要件が異なりますが、主に次ぎのようか要件があげられます。

- ・受益農家及び事業参加者が原則として5戸以上であること
- ・成果目標の基準を満たしていること
- ・生産局長等が別に定める面積要件等を満たしていること
- ・共同利用施設を整備する場合にあっては、原則として、総事業費が5千万円以上であること
- ・当該施設等の整備による全ての効用によってすべての費用を償うことが見込まれること

### ○ 事業実施主体

県、市町村、農業協同組合、土地改良区、農業者の組織する団体等

## II. 経営力の強化

経営力の強化を図るため、①担い手の育成・確保、②担い手への農地利用集積の促進、③新規就農者の育成・確保を具体的な政策目標とする取組を支援します。

### ○ 取組可能なメニュー

#### 担い手の育成・確保

#### 整備事業

##### ア 経営構造対策

効率的かつ安定的な農業経営が地域農業の相当部分を担う望ましい農業構造の確立を図るため、認定農業者等の担い手の育成・確保及び担い手への農地の利用集積等

の地域農業の構造改革の加速化に資する生産施設、加工施設、流通販売施設及び土地基盤等の整備を支援します。

#### イ 集落営農育成・確保緊急整備支援

集落営農の組織化・法人化の加速的な推進を図るため、集落内の農家に保有する農業用機械の整理合理化計画を策定し、個人所有の農業用機械の全廃に向けた農業用機械の査定・廃棄処分及び新たに必要となる農業用機械の導入等を支援します。

(ア) 農業用機械の整理合理化計画の策定

(イ) 農業用機械の査定・処分

(ウ) 中古農業用機械の買上げリース

(エ) 高生産性農業用機械の新規導入

(オ) 小規模基盤整備・簡易な施設の整備

#### ○ 交付率

都道府県への交付率は定額(事業実施主体へは事業費の1/2以内等の補助率となります。)

#### ○ 採択要件

取組によりそれぞれ要件が異なりますが、主に次ぎのようか要件があげられます。

- ・ 成果目標の基準を満たしていること
- ・ 費用対効果分析により、妥当投資額を算定し、投資効率が1.0以上となっていることなど

#### ○ 事業実施主体

県、市町村、農業協同組合、土地改良区、農業委員会、農業者等の組織する団体等

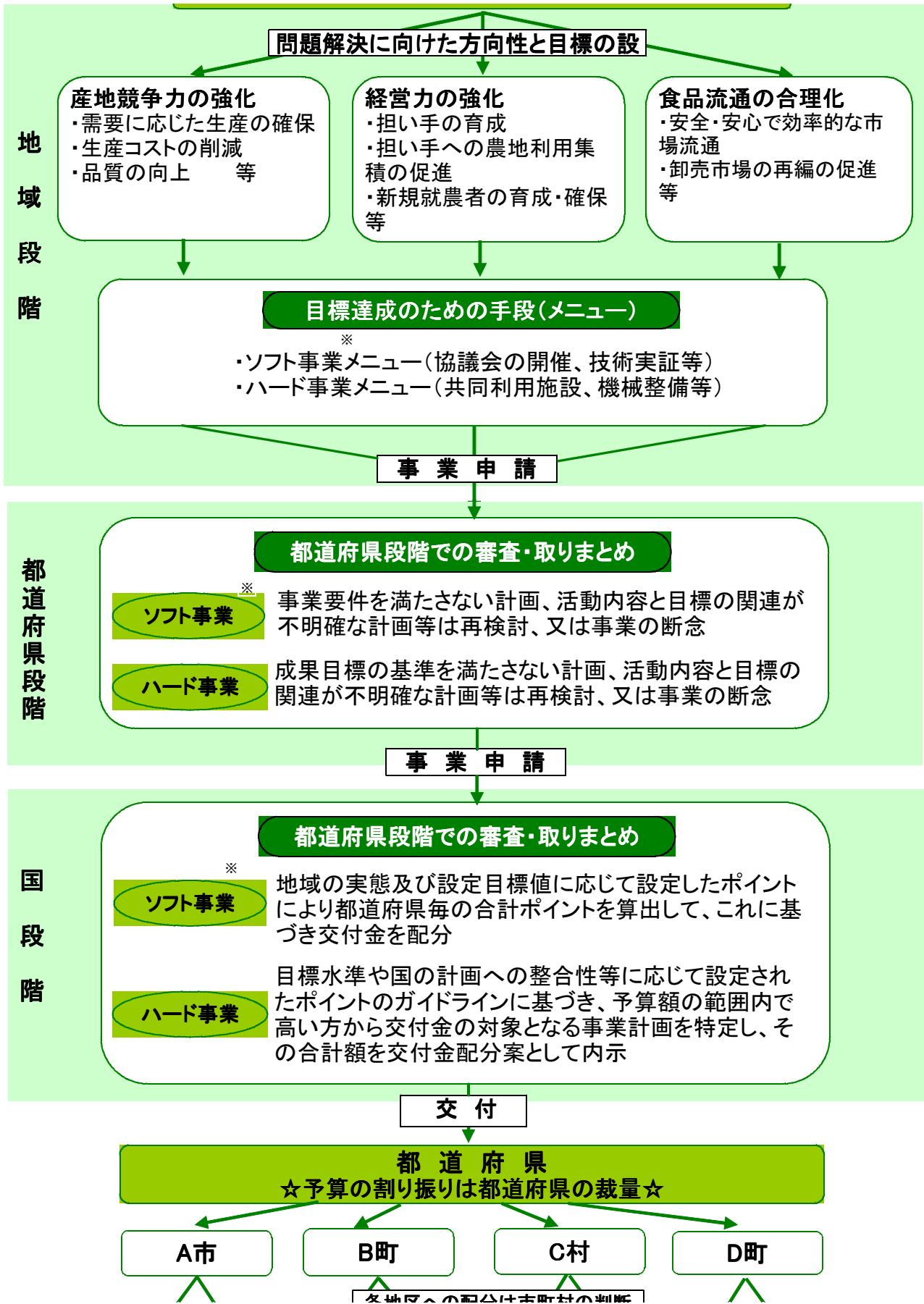
なお、本事業について、不明な点等がありましたら、下記問い合わせ先までお気軽にご連絡下さい。

〔問い合わせ先〕

〒860-8527熊本市二の丸1番2号

九州農政局生産経営流通部農産課 草場、平山(内線4213、4277)

TEL:096-353-3561(代表) FAX:096-324-1439





.....  
**◆◇◇その他(意見、提案の募集).....**

～皆様のご意見をお寄せ下さい～

定期的に、諫早湾干拓室からのお便りを差し上げているところですが、お知らせの内容その他につきましてのご意見やご要望等ございましたら、諫早湾干拓室までお寄せ下さい。

なお、今後、お便りを差し上げる場合にEmailでの送付をご希望の方はメールアドレスをお知らせ下さい。

送付先 〒850-8570(住所記載不要) 長崎県農林部諫早湾干拓室  
(TEL 095-895-2051 FAX 095-895-2595)

Email s07050@pref.nagasaki.lg.jp

お願い Emailでご意見やご要望等をお寄せいただく場合には、恐れ入りますがメールの件名を諫干だよりで設定し送信をお願いします。

.....  
**●編集後記**

梅雨の晴れ間にのぞく青空に夏らしさ感じられるころとなりました。早いもので、今年も折り返し点にさしかかり、来月には干拓農地リースの公募が始まります。

さて、松岡農林水産大臣の突然の訃報に接しました。

諫早湾干拓事業についても、少なからずお世話になり、その業績に感謝申し上げるところであります。大臣の死を惜しむとともに、ご冥福をお祈りいたします。